

環境経営レポート

対象期間：2023年1月～2023年12月

作成年月日：2024年7月11日



アイワ自動車販売株式会社
マツダオートザム浜松ささが
せ

目次

1. 組織の概要	P. 1
2. 実施体制	P. 2
3. 環境経営方針	P. 3
4. 環境経営目標	P. 4
5. 環境経営計画	P. 5
6. 環境経営目標の実績	P. 6
7. 取り組み風景	P. 7
8-1. 環境経営計画の取組結果とその評価	P. 8
8-2. 次年度の環境経営計画	P. 9
8-3. 次年度(2023年度)以降の環境経営目標	P. 10
9. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに 違反・訴訟等の有無	P. 11
10. 代表者による全体評価と見直しの結果	P. 12

1. 組織の概要

1. 事業所名及び代表者名

アイワ自動車販売株式会社
代表取締役社長 山田 淳一

2. 所在地

本社	〒435-0043	静岡県浜松市中央区宮竹町237-1
輸入車サービス工場宮竹	〒435-0043	静岡県浜松市中央区宮竹町237-1
輸入車センター宮竹	〒435-0043	静岡県浜松市中央区宮竹町237-1
輸入車新車ショールーム	〒435-0043	静岡県浜松市中央区宮竹町226-1
輸入車査定センター	〒435-0043	静岡県浜松市中央区宮竹町237-1
輸入車GarageAIWA向宿	〒430-0851	静岡県浜松市中央区向宿1-5-15
国産車センター篠ヶ瀬	〒435-0042	静岡県浜松市中央区篠ヶ瀬町1181
国産車サービス工場	〒435-0042	静岡県浜松市中央区篠ヶ瀬町1187
アイワ屋内展示センター	〒435-0042	静岡県浜松市中央区篠ヶ瀬町1187
マツダオートザム浜松ささがせ 篠ヶ瀬営業所	〒435-0042	静岡県浜松市中央区篠ヶ瀬町1181-3

3. 環境管理責任者名及び連絡先

環境管理責任者 : 稲穂 紘一
EA21活動事務局 : 稲穂 紘一

TEL : 053-422-1010

FAX : 053-422-1213

E-mail:maz-aiwa@outlook.jp

4. 事業の内容

新車・中古車販売・整備、自動車保険の代理店

5. 事業規模

活動規模	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
売上高	非公開	非公開	非公開	非公開	非公開	非公開
従業員	8人	10人	10人	9人	11人	9人
床面積	333㎡	333㎡	333㎡	333㎡	333㎡	333㎡

6. 対象範囲

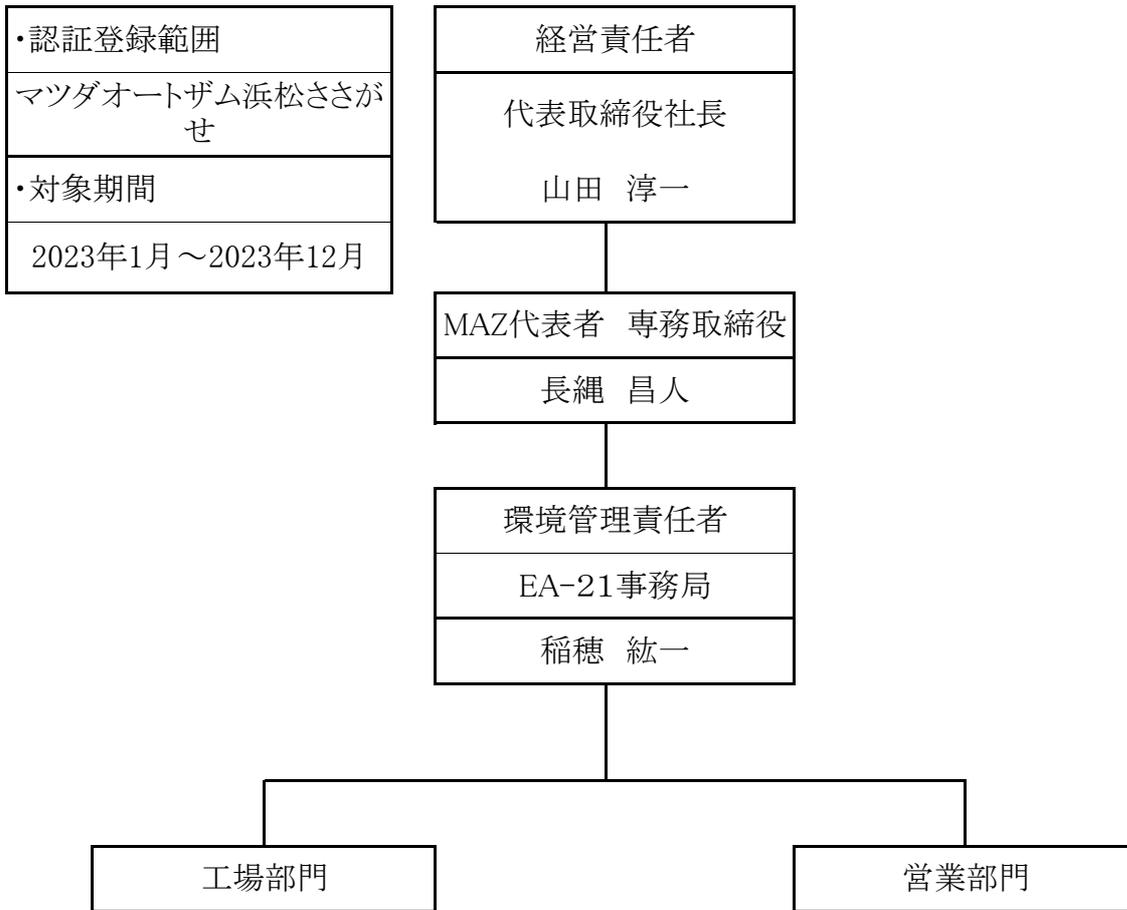
マツダオートザム浜松ささがせ(篠ヶ瀬営業所)

※マツダオートザム浜松ささがせだけのサイト認証

7. 事業年度

期首 7月 ~ 期末 6月

2. アイワ自動車販売 実施体制



担当者	役割
代表者 専務取締役	<ul style="list-style-type: none"> ・環境マネジメントシステム(以下EMS)に関する統括責任 ・環境管理責任者の任命 ・EMSの実施及び運用に必要な人、設備、費用、時間を用意 ・環境経営方針の策定、見直し及び全従業員へ周知 ・全体の評価と見直しを実施
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営目標の設定を承認 ・環境経営レポートの承認 ・実務上の責任者として、環境取組を推進する (※代表者は環境活動の実務に関して指揮命令権限を委譲する。) ・環境システムの構築、実施、管理 ・環境経営計画書、環境関連法令取りまとめリスト等の承認 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・環境経営レポートの確認
EA21推進事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・環境管理責任者をサポートし、EA21推進事務局として環境取組を推進 ・環境取組の指導、支援 ・環境データの集計、取りまとめ
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> ・環境マネジメントシステムの遵守、実施 ・環境活動への参加

3. 環境経営方針

《環境理念》

アイワ自動車販売株式会社は自動車販売、自動車整備での全ての事業活動において自然との調和を図りながら地球環境の保護と豊かな循環型社会の構築に向けた取組みにより社会貢献に努めます。

《基本方針》

1. 限りある資源を大切にす為、展示場、整備工場、事務所で用いる水資源及び、電気、化石燃料の使用量を減らし二酸化炭素排出量の削減に努めます。
2. 燃費効率の良い車種の販売、環境に良い車検・点検・整備等を心掛けます。
3. 廃棄物排出量の削減及びリサイクルを推進します。
4. 環境改善目標を定め、継続的な環境改善活動を実践します。
5. 環境に関する法規制を遵守します。
6. 環境活動レポートを取りまとめ公表し全従業員の参加による取組みを目指します。

制定 2016年 1月 1日
改訂 2017年 7月 1日

アイワ自動車販売株式会社
代表取締役社長 山田 淳一

4. 環境経営目標

今後の中期環境経営目標

中期環境経営目標								
項目	単位	基準値	目標数値		目標数値		目標数値	
		2022年	2023年		2024年		2025年	
		1月～12月	1月～12月		1月～12月		1月～12月	
環境に配慮した商品提案		努力した	努力する					
グリーン購入に配慮		配慮した	努力する					
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂ /kWh	28,713	-0.5%	28,569	-1.0%	28,426	-1.5%	28,282
電力使用量	kWh	51,966	-0.5%	51,706	-1.0%	51,446	-1.5%	51,187
ガソリン使用量	L	1,080	-0.5%	1,075	-1.0%	1,069	-1.5%	1,064
軽油使用量	L	450	-0.5%	448	-1.0%	446	-1.5%	443
一般廃棄物排出量	kg	347	-0.5%	345	-1.0%	344	-1.5%	342
産業廃棄物	kg	5,713	-0.5%	5,684	-1.0%	5,666	-1.5%	5,627
水道水使用量	m ³	433	-0.5%	431	-1.0%	424	-1.5%	427

※2022年の実績を基準値として向こう3ヶ年(2023年度～2025年度)の環境経営目標を新たに設定

5. 環境経営計画

項目	内容	担当者	2023												備考			
			1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月				
環境に配慮した商品提案		長縄														低燃費車の拡販		
	・低燃費車の拡販																	
グリーン購入に配慮する		岩澤														再生部品利用		
二酸化炭素排出量の削減																		
ガソリン・軽油	<ul style="list-style-type: none"> ・不必要なアイドリングの禁止 ・不要な荷物を降ろす ・急発進・急加速の禁止 ・タイヤの空気圧をチェック ・エコドライブ実施状況の確認 	岩澤														エコドライブ10の励行		
動力	<ul style="list-style-type: none"> ・コンプレッサーの昼休み停止 ・パソコン等の待機電力のカット 	岩澤														こまめにスイッチON・OFF		
空調	<ul style="list-style-type: none"> ・エアコンの温度設定 ・クールビズ・ウォームビズの実施 ・定期的フィルター清掃 ・使用していないエリアの空調停止 ・日射を遮るため遮光対策の実施 	稲穂			→		→									夏28℃冬20℃に設定		
照明	<ul style="list-style-type: none"> ・工場昼休み時等の消灯の徹底 ・照明(蛍光灯)の間引き ・屋外照明機器の点灯時間の管理 ・タイマー照明の活用 	稲穂														ブラインドの活用		
水使用量の削減	<ul style="list-style-type: none"> ・洗車時の節水 ・水もれ点検の実施 ・節水シールによる意識向上 	岩澤														井戸水の使用 洗車場・洗車設備		
廃棄物の削減	<ul style="list-style-type: none"> ・コピー用紙の両面使用 ・封筒などの再利用 ・裏紙の積極使用 ・分別の徹底 	稲穂														両面印刷による紙削減 社内便などでの使用 メモ、社内資料などで利用 分別ボックスの設置		
環境に配慮したサービス・商品の提供		長縄														低燃費車の拡販		
	・スカイアクティブ車種の拡販																	
教育訓練の実施	・環境経営システムの運用説明	稲穂					→									防災訓練の実施		
	・緊急事態の想定訓練					→												

6. 環境経営目標の実績

取組期間(2023年1月～2023年12月)の環境経営目標の実績

取組期間(2023年1月～2023年12月)の実績								
項目	単位	基準値	削減目標	目標値	実績値	対目標値	削減率(%)	評価
		2022年 1月～12月						
環境に配慮した商品提案		努力した		努力する	努力した			◎
グリーン購入に配慮		配慮した		配慮する	配慮した			◎
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	28,713	-0.5%	28,569	23,371	81.8%	-18.2%	◎
購入電力使用量	kWh	51,966	-0.5%	51,706	41,595	80.4%	-19.6%	◎
ガソリン使用量	L	1,080	-0.5%	1,075	1,240	115.4%	15.4%	△
軽油使用量	L	450	-0.5%	448	205	45.8%	-54.2%	◎
一般廃棄物排出量	kg	347	-0.5%	345	353	102.2%	2.2%	○
産業廃棄物排出量	kg	5,710	-0.5%	5,684	4,908	86.3%	-13.7%	◎
水使用量	m ³	433	-0.5%	431	402	93.3%	-6.7%	◎

※購入電力量を排出した二酸化炭素量に換算するには、中部電力の調整後の排出係数である0.480kg-CO₂/kWh(平成28年度実績ー H29.12.21環境省・経済産業省公表)を使用

※実績は◎○△で評価する。

◎: 目標達成 ○: 目標達成(対目標値100～105%) △: 目標未達成

7. 取り組み風景

店舗周辺の清掃



ゴミ分別とバッテリー処分



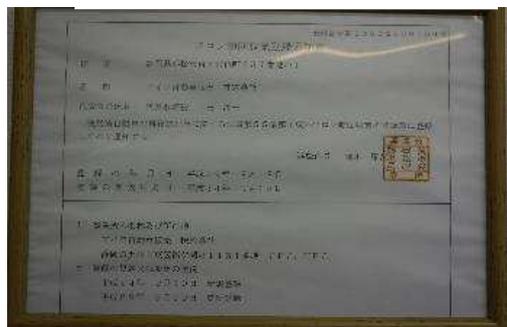
エアコンの設定温度



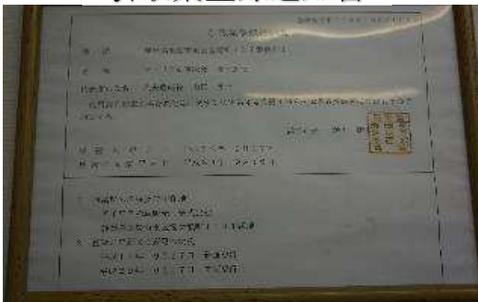
裏紙使用



フロン類回収業登録通知書



引取業登録通知書



8-1 環境経営計画の取組結果とその評価

1) 環境経営計画の評価

項目	内容	担当者	備考	評価
環境に配慮した商品提案	・低燃費車の拡販	長縄	低燃費車の拡販	◎
	グリーン購入に配慮する	岩澤	再生部品利用	◎
二酸化炭素排出量の削減				
ガソリン・軽油	・不必要なアイドリングの禁止	岩澤	エコドライブ10の励行	◎
	・不要な荷物を降ろす			◎
	・急発進・急加速の禁止			◎
	・タイヤの空気圧をチェック		入庫車両、社有車のチェック	◎
	・エコドライブ実施状況の確認			△
動力	・コンプレッサーの昼休み停止	岩澤	こまめにスイッチON・OFF	○
	・パソコン等の待機電力のカット		夏28℃冬20℃に設定	△
空調	・エアコンの温度設定	稲穂		◎
	・クールビズ・ウォームビズの実施			◎
	・定期的フィルター清掃			◎
	・使用していないエリアの空調停止			◎
照明	・日射を遮るため遮光対策の実施	稲穂	ブラインドの活用	◎
	・工場昼休み時等の消灯の徹底			△
	・照明(蛍光灯)の間引き			○
	・屋外照明機器の点灯時間の管理		季節毎に点灯時期の見直し	◎
水使用量の削減	・洗車時の節水	岩澤	井戸水の使用	△
	・水もれ点検の実施		洗車場・洗車設備	◎
	・節水シールによる意識向上			◎
廃棄物の削減	・コピー用紙の両面使用	稲穂	両面印刷による紙削減	○
	・封筒などの再利用		社内便などでの使用	◎
	・裏紙の積極使用		メモ、社内資料などで利用	◎
	・分別の徹底		分別ボックスの設置	○
	・再利用の促進			○
環境に配慮したサービス・商品の提供				
	・スカイアクティブ車種の拡販	長縄	低燃費車の拡販	◎
教育訓練の実施	・環境経営システムの運用説明	稲穂		◎
	・緊急事態の想定訓練		防災訓練の実施	◎

※活動の結果は◎○△で評価する。

◎: ほぼ実行できた ○: もう少し努力が必要 △: あまり実行できなかった

2) 環境経営計画の取組結果の評価

項目	評価
低燃費(環境性能)車両の拡販	クリーンディーゼル車・低燃費車種の販売を前年比で増加することができた。引き続き環境に配慮したクリーンディーゼル車・低燃費車の購入を訴求していく。
グリーン購入	再生部品の利用と再生紙等の利用
二酸化炭素排出量の削減	-3%の削減目標に対して、-12.3%であった。その要因としては、例年に比較し事務所、ショールームの空調の電力消費が減少した。ガソリン使用料については昨年より修理入庫台数の増加に伴い代車のガソリンが若干増加しているが、軽油の使用料については、基準値からは大幅な減少を保っている。
購入電力使用量の削減	-3.0%の削減目標に対して-12.3%で目標を達成できた。前年より事務所、ショールーム、休憩室の空調電力を減少させることができたことによる。 今後とも以下の対策を実施していく。 ・従業員の節電意識を朝礼等で啓蒙していく。 ・事務所内の温度を冬場20度、夏場の28度を極力実行する。 ・夏場はカーテンを使い直射日光を入れないように工夫し室内温を上げない。 ・扇風機を活用し冷たい空気を循環させる。 ・昼休み時の消灯徹底や不必要な照明のこまめな消灯等を徹底する。 ・使用する場所のみの冷暖房を徹底し無駄な電力消費を抑える。 ・クールビズ、ウォームビズを有効に活用する。 ・休憩時の消灯、店舗の看板電気をこまめに時間を調整し節電を図る。
ガソリン車の燃費向上	ガソリン使用量は、-3.0%の目標に対し+11.1%で未達成であった。修理入庫台数が増えたことにより代車等で前年よりは増加したことが原因である。
軽油使用量の削減	軽油使用量は、-3.0%の目標に対し-55.6%で目標を達成できた。軽油の使用は新車の販売車が殆どだが、販売台数の減少したことが削減に貢献した結果となった。販売台数が増えたとしても、マツダのクリーンディーゼルは、排気ガスも綺麗で燃費も良いことから、環境には寄与していると考えている。
一般廃棄物排出量の削減	目標値-3.0%に対し、+28.5%の実績で目標未達成であった。主にダンボールの排出量が増加したことが原因である。今後はコピー紙の裏面利用封筒の再利用、会議のペーパーレス等で意識し達成していく。
産業廃棄物の削減	目標値-3.0%に対し、-12.9%で目標達成となった。廃棄物としては廃プラスチックと廃油であるが、廃油はオイル交換台数に影響を受けるが、その台数が減少したことが削減に貢献した結果となった。廃プラスチックも分別を徹底することで、引き続き軽減を目指す。
水使用量の削減	目標値-2.0%に対して、-18.9%で目標達成となった。今後とも洗車時の出しっぱなしにしない等の節水意識の向上を図っていく。

8-2. 次年度(2024年)の環境経営計画

項目	内容	担当者	2024年												備考		
			1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月			
二酸化炭素排出量の削減		長縄													▶	低燃費車等の拡販	
グリーン購入		岩澤													▶	再生部品の利用	
二酸化炭素排出量の削減																	
ガソリン・軽油	<ul style="list-style-type: none"> ・不必要なアイドリングの禁止 ・不要な荷物を降ろす ・急発進・急加速の禁止 ・タイヤの空気圧をチェック ・代車の低燃費車への入れ替え ・エコドライブ実施状況の励行呼びかけ 	岩澤												▶	エコドライブ10の励行		
															▶		
																▶	入庫車、社有車チェック
																▶	随時入れ替え
動力	<ul style="list-style-type: none"> ・コンプレッサーの昼休み停止 ・パソコン等の待機電力のカット 	岩澤												▶	朝礼等にて		
															▶	こまめにスイッチON・OFF	
空調	<ul style="list-style-type: none"> ・エアコンの温度設定 ・クールビズ・ウォームビズの実施 ・定期的フィルター清掃 ・使用していないエリアの空調停止 ・日射を遮るため遮光対策の実施 	稲穂			▶									▶	夏28℃冬20℃に設定		
															▶	時期を決めて行う	
																▶	ブラインド・カーテンの活用
照明	<ul style="list-style-type: none"> ・工場昼休み時等の消灯の徹底 ・照明(蛍光灯)の間引き ・屋外照明機器の点灯時間の管理 ・タイマー照明の活用 	稲穂												▶	節電シールによる徹底		
															▶	季節毎に点灯時期の見直し	
水使用量の削減	<ul style="list-style-type: none"> ・洗車時の節水 ・水もれ点検の実施 ・節水シールによる意識向上 	岩澤												▶	井戸水の利用		
															▶	洗車場・洗車設備	
																▶	
廃棄物の削減	<ul style="list-style-type: none"> ・コピー用紙の両面使用 ・ペーパーレス化の推進 ・裏紙の積極使用 ・分別の徹底 ・再利用の促進 	稲穂												▶	社内資料は両面使用		
															▶	電子化を推進	
																▶	メモ、社内文書は裏紙
																▶	分別ボックスの設置
環境に配慮したサービス・商品の提供																	
<ul style="list-style-type: none"> ・スカイアクティブ車種の拡販 		長縄												▶	低燃費車の拡販		
教育訓練の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営システムの運用説明 ・緊急事態の想定訓練 	稲穂					▶										
															▶	防災訓練の実行	

8-3. 次年度(2024年)以降の環境経営目標

次年度(2024年)以降の環境経営目標

中期環境経営目標								
項目	単位	基準値	目標数値		目標数値		目標数値	
		2023年	2024年		2025年		2025年	
		1月～12月	1月～12月		1月～12月		1月～12月	
環境に配慮した商品提案		努力した	努力する					
グリーン購入に配慮		配慮した	配慮する					
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂ /kWh	23,371	-0.5%	23,021	-1.0%	22,904	-1.5%	22,670
電力使用量	kWh	41,595	-0.5%	40,971	-1.0%	40,763	-1.5%	40,347
ガソリン使用量	L	1,240	-0.5%	1,221	-1.0%	1,215	-1.5%	1,203
軽油使用量	L	205	-0.5%	202	-1.0%	201	-1.5%	199
一般廃棄物排出量	kg	353	-0.5%	348	-1.0%	346	-1.5%	342
産業廃棄物	kg	4,908	-0.5%	4,834	-1.0%	4,810	-1.5%	4,761
水道水使用量	m ³	402	-0.5%	396	-1.0%	394	-1.5%	390

※2023年の実績を基準値として向こう3ヶ年(2023年度～2025年度)の環境経営目標を新たに設定

9. 環境関連法規の遵守状況及び評価結果並びに違反、訴訟の有無

作成日 2024年7月1日

評価者 環境管理責任者 稲穂 紘一

1. 環境関連法規の遵守状況の確認及び評価結果

当社に適用される環境関連法規の遵守状況を確認した結果、違反はありませんでした。

環境関連法令	遵守事項	適用及び対応	遵守評価
循環型社会形成推進基本法	・廃棄物の3R及び適正処理の推進	・廃棄物の分別、行政への協力	○
廃棄物処理法	・産業廃棄物の適正処理 ・産業廃棄物の保管 ・廃棄物排出の委託処理 ・マニフェストの管理 ・マニフェスト交付状況の報告	・廃棄物の分別と再利用による削減 ・保管場所の確認 ・保管場所表示 ・指定業者との委託契約と許可確認 ・マニフェストの交付と保管 ・浜松市へ報告書の提出	○
自動車リサイクル法	・使用済自動車の引渡し義務	・使用済自動車の引取り業者への引渡し ・リサイクル料金の支払(廃車時)	○
家電リサイクル法	・特定家庭用機器の廃棄処理	・廃棄する家電品の収集・運搬業者への引渡し ・リサイクル料の支払い	○
フロン排出抑制法	・第1種特定製品の管理の適正化	・業務用エアコンの点検と記録 ・エアコンの簡易点検の実施	○
グリーン購入法	・物品購入時に環境物品等を選択	・エコマーク製品、再生品を優先的に購入	○
浜松市産業廃棄物の適正な処理に関する条例	・産業廃棄物の適正処理	・処理委託業者の現地確認 ・現地確認の記録保存	○
消 防 法	・消防用設備等の点検と報告	・消火設備の定期点検と報告	○

2. 環境関連法規の違反・訴訟等の有無

関係当局からの指摘、利害関係者からの訴訟は過去4年間有りません。

10.代表者による全体の評価及び見直し

2024年7月1日 稲穂 紘一

1・見直し関連情報	項目		確認 : (必要に応じて評価・コメント記載)	
	1	エコアクション21文書	<input checked="" type="checkbox"/>	2017年度版ガイドラインに対応
	2	環境経営目標及び目標達成状況	<input checked="" type="checkbox"/>	軽油使用量、電力使用量、二酸化炭素排出量は減少したが、ガソリン使用量についても整備台数が増えたため増加した。
	3	環境経営計画及び取り組み実施状況	<input checked="" type="checkbox"/>	活動については全体に浸透、意識でき始めてはいるものの、個別では温度差があり全体の取り組みとなっていない。
	4	環境関連法規要求一覧及び遵守状況	<input checked="" type="checkbox"/>	該当する法律、規則は遵守した。
	5	外部コミュニケーション・対応記録	<input checked="" type="checkbox"/>	外部からの苦情等はない。
	6	問題点の是正・予防措置の実施状況	<input checked="" type="checkbox"/>	活動して7年目に入り、問題点は明確になってきている。取り組み、結果を共有し改善に努める。
	7	取引先、業界、関係行政機関、その他の外部動向	<input checked="" type="checkbox"/>	業界としては産廃、美化に加え省エネルギーに大きく動いている。
8	その他()			

エコアクション21を運用して7年目を迎える。全員の意識も少しずつではあるが向上している。しかし、課題は多くあり全員で対処していきたい。従業員の更なる意識の向上と活動の定着を図り結果につなげていきたい。

2024年7月1日 稲穂 紘一

2・代表者による全体評価・見直し指示	見直し項目		変更の必要性	指示事項等・コメントなど記載
	1	環境経営方針	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	マツダ方針に則り環境への取り組み、CO ₂ 排出量削減への取り組みに積極的に参加する。
	2	環境経営目標・計画	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	
	3	環境経営計画・取組項目	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	
	4	環境に関する組織	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	
	5	その他のシステム要素	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	
	6	その他(外部への対応)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	